

▼ 公社HP

<https://www.adhokkaido.or.jp/>



農業公社 ニュース



(第33号)

新しい年(2026年)がスタートして、早1か月が経過しました。国際的な地政学的リスクが増大し、国内政局も不透明な中、地球規模での温暖化が着実に進み、夏の高温・干ばつ・豪雨、冬の豪雪などの気候変動が顕在化しています。

今年の冬は、1月に寒気の流入が続き、記録的な大雪に見舞われましたが、先月20日に発表の3か月予報を見ると、2月で平年並みに戻り、3月以降は暖かな春が早めにやってくるといった見通しのようです。インフルエンザやコロナなどの影響も続いており、健康管理等に十分留意していく必要があります。

「農業公社ニュース」の第33号をお届けいたします。

■ 令和7年度 第1回臨時理事会を開催

さる1月22日、今年度1回目の臨時理事会を当公社会議室において、開催いたしました。

当公社では、定款に基づき「通常理事会」を年間4回、3か月ごとに開催しているほか、例年1月に、事業計画の変更や次年度事業に係る諸手続きを行うため「臨時理事会」を開催し、ご審議いただいております。

冒頭の小田原理事長からの挨拶では、昨年の本道農業や当公社をめぐる状況を振り返るとともに、新たな食料・農業・農村基本計画に基づき、今後5年間で集中的に進められる農業構造転換の取組、昨年12月に決定の補正予算や当初予算案の動向、我が国最大の食料供給地域である本道の農業への期待や役割の高まり、「人と農地」の構造施策を担う当公社業務の計画的・継続的な推進の重要性などにふれた後、今年度の事業の進捗状況、来年度から3年間にわたる「第5次中期経営方針」の検討について言及がありました。

議事については、報告事項として本年度事業の進捗など3件、決議事項として令和8年度事業計画大綱(案)など3件、その他1件であり、いずれも

原案どおり承認されました。



▲ 第1回臨時理事会の様子

【総務部】

■ 無料オンラインセミナー「北海道で新規就農しました！」を開催

さる1月24日（土）、パネラーとして3名の先輩就農者、司会進行役として農業とアナウンサーの二刀流のヴォイス北海道・太細真弥アナウンサーをお迎えし、オンラインによるセミナーを開催。先輩方から、就農までの道のりや苦労したこと、良かったことなど経験談を率直にお話しいただき、参加者からの質問にもお答えいただく形で進められました。

約50名の参加者からは、実際のお話が聞けて、「農業に魅力を感じた」「初期投資や償還など具体的な話が聞けて参考になった」「就農意欲がわいた」など多くの感想が寄せられました。

R 8年1月24日（土）
13:30～14:30

無料オンラインセミナー
「北海道で新規就農しました！」

先輩就農者から、就農までの道のり・苦労したこと・良かったことなど経験談をお話しいただき、質問にもお答えします

司会進行：ヴォイス北海道アナウンサー 太細 真弥さん

H29年就農
平澤農園（名寄市） 平澤 宏幸さん
水稲・スイートコーン、アスパラ、果菜

H30年就農
若松ファーム（伊達市） 若松 航洋さん
施設野菜（チンゲンサイなど）

R3年就農
上原牧場（湧別町） 上原 恒一郎さん
酪農 経産牛55頭

申込方法

- 北海道農業公社よりZOOMによるオンライン配信
ご自宅等からご視聴ください。
※インターネット環境、受講用端末はご自身でご用意ください。
- QRコードまたはURLからGoogleフォームにアクセスし、お申込みください。開催前にURLをお送りします。
<https://forms.gle/2h9ksu9r72q5kM1t3> 1月21日締切

公益財団法人 北海道農業公社（北海道農業担い手育成センター）
☎011-271-2255 @sodan_2@ad Hokkaido.or.jp



▲ 会場の様子



◀ 司会進行の太細アナウンサー

【担い手支援部】

■ 当公社主催「北海道新規就農フェア」を開催します！

きたる2月28日（土）〔10時30分～16時〕、令和7年度第2回の「北海道新規就農フェア」をホテルポールスター札幌（中央区北4西6）で開催いたします。

道内の59市町村（55団体）が出展予定で、地域の生の情報を収集できる貴重な相談会です。就農をめざす方はもとより、農業に興味・関心がある方も、ぜひこの機会にお話を聞いてみませんか！是非ご参加ください！！



詳しくはHPIにて▼

<https://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/info/6592/>

【担い手支援部】

■ 「北海道DE農業体験&就農相談会～サタデーナイトフェア～」のお知らせ

道と当公社主催による初の東京での就農相談会を、きたる3月14日（土）〔17:00～20:30〕に東京交通会館（千代田有楽町）で開催します。

今回のイベントは、その名のとおり土曜日の夕方から夜にかけて実施するもので、お買い物のついでや、お仕事帰りに立ち寄れる気軽さが魅力です。

当日は、道内の2つの自治体（枝幸町、知内町）の方々から、農業の始め方や就農への道筋など、現地のリアルな情報を直接聞くことができます。東京周辺で農業に興味のあるの方々、お待ちしております。



詳しくはHPIにて▼

<https://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/info/6573/>

【担い手支援部】

■ 「農業参入フェア 2025」が開催されました！

さる12月17日（水）に東京国際フォーラム（東京都千代田区）において、農業参入を希望する法人と法人を誘致したい地域等の関係者を集めた「農業参入フェア2025」が農林水産省（経営局農地政策課）などの主催で開催され、当公社も北海道と共同で相談ブースを出展しました。

当日は、約200名の法人関係者が来場し、基調講演や企業事例の発表とともに都道府県や市町村、農地バンクと参入希望法人とのマッチング等が行われました。

北海道のブースにおいても、道内各地の地域特性に関する質問や農業参入における農地の確保等についての相談に対応しました。

農業者の減少・高齢化が進行し、担い手の確保が喫緊の課題となっていますが、そうした中、農業を担う法人の数は増加しており、現在、我が国全体の農地の約4分の1、農産物販売金額の約4割を占めるまでになっています。さらに、40代以下の新規就農者のうち、農業法人への雇用就農が約4割を占めるなど、法人経営が農業生産や雇用の受け皿として果たす役割は大きなものとなっています。本道においても農地を所有して農業を営む農地所有適格法人は年々増加し、令和6年では4,122経営体となっているところです。

法人は、地域農業の担い手となり得る存在であり、その発展に大きく貢献できることから、特に担い手が不足する地域において、法人の農業参入を推進することが求められています。

また、農地バンク事業を活用することで、まとまった農地を農地バンクから一括して借り入れるなどの対応が可能です。

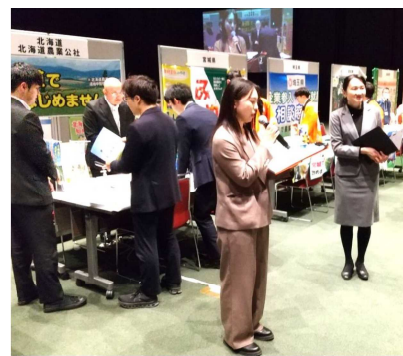
農業参入フェアの詳細につきましては、以下の農林水産省ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/seisaku/attach/pdf/251027-1.pdf>

（農林水産省HP⇒「農業参入フェア2025パンフレット(PDFファイル)」）



▲ 農業専門家による基調講演



▲ 会場の様子



▲ 北海道と当公社の相談ブース

【農用地部】

■ 冬期間の労働安全・交通安全に取り組中！

当会社の支所機械センターでは、冬期間中は農業開発機械の点検・整備を実施しているため、「冬期整備の労働安全」に取り組んでいます。

また、北海道警察の交通安全情報を公社内掲示板に掲載し、冬型交通事故から当公社職員を守るための「冬の交通安全」にも努めています。

冬期整備の労働安全

- ◎安全最優先を常に意識した不安全行動の回避
- ◎共同作業時の十分な相互連携と適確な合図
- ◎整備作業時の安全確保に必要な保護具の着用
- ◎整理・整頓・清掃による安全な作業環境の維持
- ◎農業開発機械の完全停止確認後の点検・整備の開始
- ◎安全パトロールによる安全な点検・整備の注意喚起

《会社の支所機械センター》



※感染症対策(新型コロナ・インフルエンザ)として
換気・消毒なども併せて実施

冬の交通安全

冬道は滑ります！

- ◇スリップを防ぐための早めの減速と十分な車間距離の確保
- ◇急発進・急ハンドル・急ブレーキなどの「急」のつく運転は厳禁

危険を予測した運転！

- ◇雪山の陰からの横断歩行者や転倒歩行者を予測した減速運転
- ◇大雪や吹雪などによる視界不良時は早めのヘッドライト点灯

天気予報や道路情報の事前確認！

- ◇天気予報や道路情報の事前確認と時間に余裕のある運転スケジュール
- ◇悪天候が予想されるときは出発時刻の変更や運転の取り止め

【統括労働安全衛生委員会】

本所・支所・牧場所在地

● 本所 ①～⑨ 支所・牧場



本所

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23
TEL. 011-241-7551 (代表) FAX. 011-271-3776
<https://www.adhokkaido.or.jp>



監 査 室

TEL. 011-241-7557

農業経営相談室

TEL. 011-522-5579

農場整備部

TEL. 011-241-7554

総 務 部

TEL. 011-241-7551

農 用 地 部

TEL. 011-241-5751

畜 産 部

TEL. 011-241-5761

担い手支援部

TEL. 011-271-2255

農 村 施 設 部

TEL. 011-241-5701

統括労働安全衛生委員会

TEL. 011-241-7557

支所・牧場

① 岩見沢支所

〒068-0025 岩見沢市5条西5丁目2番地1 空知農業会館
TEL. 0126-23-2178 FAX. 0126-23-4260

② 苫小牧支所

〒053-0021 苫小牧市若草町5丁目5番3号 日胆農業会館
TEL. 0144-32-8171 FAX. 0144-32-3215

③ 帯広支所

〒080-0022 帯広市西12条南6丁目3番地1 農協連ビル
TEL. 0155-65-0607 FAX. 0155-33-1503

④ 釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町12丁目10番地 釧路農業会館
TEL. 0154-22-1538 FAX. 0154-25-4798

⑤ 中標津支所

〒086-1007 標津郡中標津町東7条南1丁目1番地2 根室農業会館
TEL. 0153-72-3296 FAX. 0153-73-2080

⑥ 北見支所

〒090-0833 北見市とん田東町617番地 オホーツク JA Bldg.
TEL. 0157-25-2826 FAX. 0157-25-9188

⑦ 旭川支所

〒070-0030 旭川市宮下通4丁目2番5号 JA 上川ビル
TEL. 0166-25-2613 FAX. 0166-26-3464

⑧ 稚内支所

〒097-0001 稚内市末広4丁目2番31号 宗谷農業会館
TEL. 0162-33-3321 FAX. 0162-33-7339

⑨ 十勝育成牧場

〒089-2261 広尾郡大樹町字尾田708番地
TEL. 01558-7-5121 FAX. 01558-7-5159